

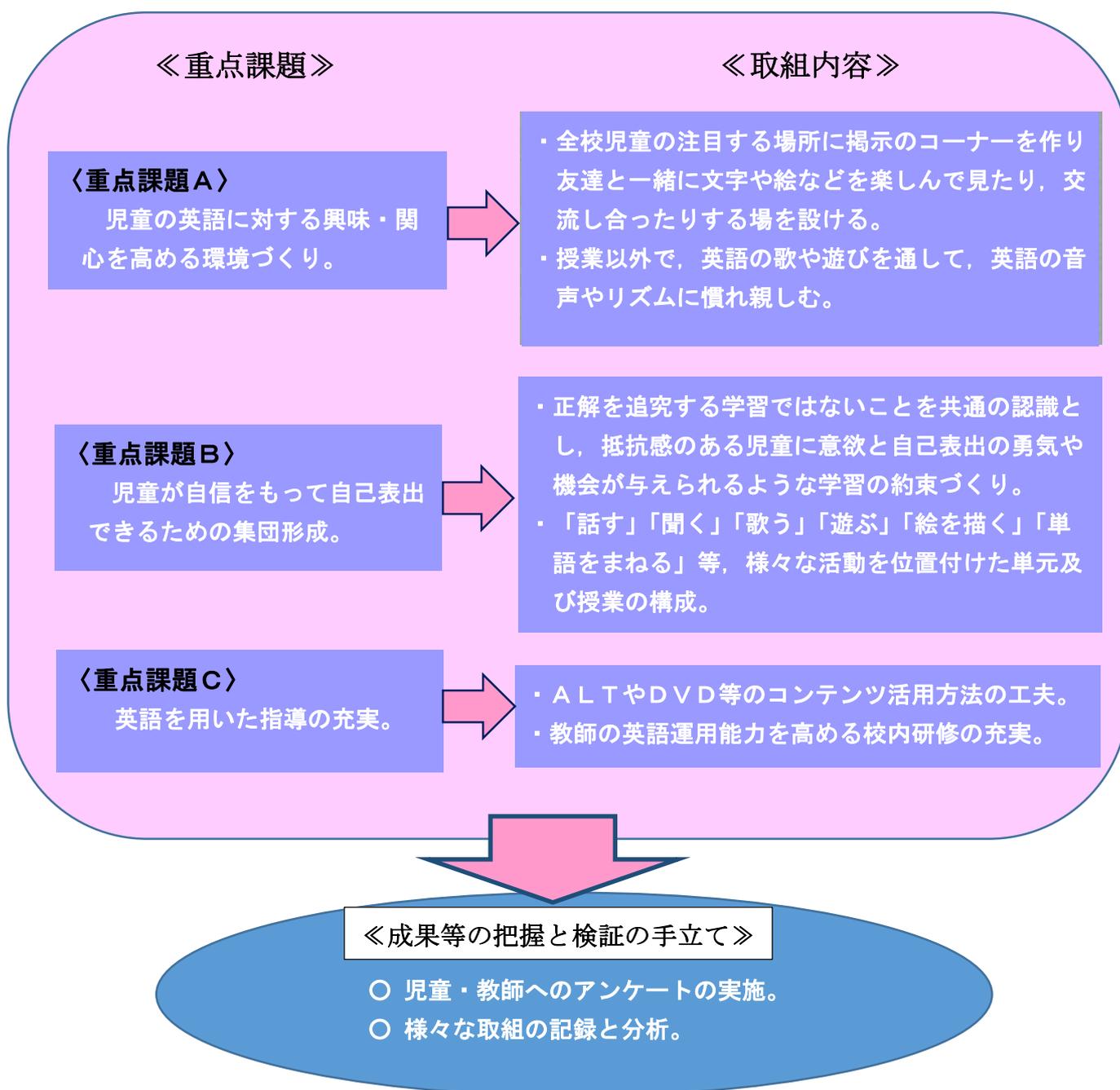
平成29年度 英語が好きになる学校づくり事業 取組報告書

事務所名	県北教育事務所	学校名	洋野町立大野小学校	TEL	0194-77-2122
------	---------	-----	-----------	-----	--------------

英語を通して、友達や先生とつながる楽しさを味わわせる
授業づくりと環境づくり

【ねらい】

英語という言葉がもつ「コミュニケーション」ツールとしての本来の役割を、単に知識理解として学ぶだけでなく、学ぶ場や学ぶ内容を通して、友達や教師とかかわること自体が楽しいと思えるような授業の構成、学級づくり、環境づくりを、理論的・実践的に追究し、子供が自信をもって自己表出したり、他とかかわったりできるような集団形成をめざす。



【具体的な取組】

〈重点課題A〉 児童の英語に対する興味・関心を高める環境づくり

「掲示コーナー」

全校児童の目に触れるところに英語関連の掲示をし、楽しく自然に英語に触れられるようにしています。掲示内容は月ごとに更新します。



掲示コーナーでは、使う英単語にカタカナによる発音はあえて表示しません。「これ何と読むの?」「これはね・・・」ということ自体が「つながる楽しさ」になるからです。



保健室の壁掲示
体の名前の英語です。



音声を聞くことができる絵本を校内に配置し、自由に触れさせることで興味・関心を高めます。

「給食時間」

牛乳は“milk”
ご飯は“rice”



学校栄養職員の先生に協力いただき、週に1、2回給食のメニューを英語にしています。給食を食べながら、身近な食物の英語が自然と耳から入ってくるように、ALTに録音をお願いし、音楽とともに編集したCDも作りました。

「音楽朝会」



全校での音楽朝会。今年度はみんなで簡単な英語の歌に挑戦しています。

「全校朝会」



町英語暗唱大会で入賞した本校卒業生に、英語の暗唱を聞かせてもらいました。

〈重点課題B〉児童が自信をもって自己表出できるための集団形成

教室には何でも話せる仲間がいる！一緒に考えたり悩んだり。発表し合うと友だちのいろんな個性が感じられて、楽しい時間を共有できます。



「学習の約束づくり」



楽しく学習した後は、自己評価で活動を振り返ります。コミュニケーションを図るよさや楽しさを改めて実感し、次時への期待も膨らみます。



練習風景。自分たちで相談しながらつくりあげていきました。



外国語活動のテキストから飛び出してきた外国人風の子供たち。保護者の方々にも大好評でした。

「学習発表会」

これまでの学習のまとめとして、英語を学ぶ自分たちの姿を表現する創作劇に取り組みました。戸惑いながらも英語を使ったコミュニケーションの楽しさを分かっている等身大の自分たちの姿を生き生きと演じました。

〈重点課題C〉英語を用いた指導の充実



「ALTとの連携」

授業前の打合せだけでなく、授業の中でも臨機応変に連携を図るようにしています。



よく使う
クラスルーム
イングリッシュ



ほめる
Good job.
Great!
Wonderful!
Excellent!
Good idea!

指示
Stand up.
Sit down.
Listen.
Make pairs.
Look.
Open your textbook.



「校内研究授業」

楽しく展開していく授業の様子を見て、参観している教師の顔も思わず笑顔に。目指す授業の姿を共通理解していきま

【児童へのアンケート結果】 5年生23名（11月1日実施）

- 1 「外国語活動」は楽しいか。 (はい21人 いいえ0人)
- 2 「外国語活動」は好きか。 (はい21人 いいえ0人)
- 3 将来、英語は役に立つと思うか。 (はい19人 いいえ2人)
- 4 将来、英語を使えるようになりたいか。 (はい19人 いいえ2人)
- 5 英語を使って友達と交流したいか。 (はい21人 いいえ0人)
- 6 英語が分かるか。(分かる6人 なんとなく13人 分からない2人)

《自由記述》

- ・外国語活動は楽しい。
- ・英語で自己紹介をしてみたい。
- ・Sさんみたいに言えるようになりたい。
- ・会話ができるようになりたい。
- ・ALTの先生とたくさんのお話を英語で話したい。
- ・英語を勉強してアメリカに行ってみたい。
- ・もっと英語を話してみたいし、日本語との違いをたくさんみつきたい。
- ・英語だけの文を読んだり、話したりしてみたい。
- ・英語だけでなく、中国語や韓国語も言えるようになりたい。
- ・英語だけの劇にチャレンジしてみたい。



考察

児童へのアンケート項目の中で、2「外国語活動は好きか」の問いに児童全員が「好き」と回答している。4月に同じ質問をした時には「好き」と回答した児童は12人であったことから、児童の関心や意欲が向上し、成果に結びついている。また、普段の様子をみても徐々に「思い切って話してみよう」という気持ちの変容が見られるようになった。授業中に出てくる未習の単語も、知っている単語から意味を推測しようとする様子も見られるようになってきた。

学習発表会では、英語を学ぶ自分たちの姿を劇化し、その表現活動に取り組むことを通して、たくさんのお客さんの前で英語を話したり、友だちや他学年、先生たちから声をかけてもらったりし、自信を高めることにつながった。

【成果】

- 掲示コーナーや昼の放送、音楽集会など、授業以外にも様々な取組を進めることができた。そのため、高学年のみならず、全校児童の英語に対する興味・関心を高めることができた。
- 安心して自己表現できる学級集団の形成に努め、児童相互、児童と教師の信頼関係を築きながら、楽しく外国語活動に取り組めるようになった。外国語活動に限らず、他教科の学習の際にも積極的に考えを表現したり、相互に高め合ったりしようとする姿が増えてきた。
- 校内の研修の充実が図られ、外国語活動のねらいを確かめ合ったり、指導法の交流をし合ったりすることができた。また、日頃から職員室等でALTの先生を交えて英語の話題が自然に出るなど、積極的に英語にかかわっていかようとする意識の高まりが見られた。